

民報 ゆうばり 消費税上げるより、賃金上げる！

19春闘・過労死のない社会の実現をめざして！



第68回道労連 評議員会開催！

1月27日(日)第68回道労連評議員会が札幌・労働センタで開催されました。三上友衛議長長の挨拶のあと、出口憲次事務局長から、19春闘の方針案が提起されました。

日本商工会議所の調査では、65%の企業が「人手が不足している」と回答し、北海道が73.2%と「人手不足」の割合が最も高くなっていることが報告された。また、北海道の人口は1998年をピークとして減少し、2017年10月調査では532万人となつています。かつて

は20兆円台だった道内総生産は、2015年調査では18兆円台になり、道内労働者のうち「非正規雇用」は約半数となり、労働者の平均賃金総額は高橋道政が始めた2003年の400万4千円

高橋道政は何をもたらしたのか 4期16年を検証する！

高橋道政の16年を「道民切捨て、地域を破壊し、道民への痛みと将来不安」と総括し、「高校配置計画で38の高校を閉校させた」と述べました。19春闘を、「要求

型選挙をめざす」とし、知事選挙と参議院選挙で勝利し安倍暴走政権に終止符を打とう。「選挙に行つて、生活変えよう！共同広げ！あべ暴走政治」を終わらせよう！と出口事務局長は組合員に呼びかけました。

（「毎勤統計」から28万2519に2万円以上低下していることも報告されました。

した。16名の組合員からの発言があり、30代「どうせ無理です。下に追い込めることができれば、生活が変わります。」と三上議長

選挙に行つて、生活変えよう！ 共同 広げ「安倍暴走政治」を終わらせよう！

の若者が「美容師として働いている時、長時間労働は当たり前だが、要求を現実してくれ」と思っていたが、労働組合で勉強して、労働者の自覚を持つことができた。これからも未組織の若い労働者の仲間を増やしたい」と発言し、会場から政権』を、過半数以

安倍晋三の海外バラマキリスト



中国	300億+1000万
モザンビーク	700億円
シリア	3000億円+59億円
ラオス	90億円
ASEANにODA	2兆円
インドへ円借款	2000億円
ミャンマー	600億円
ウクライナ	1500億円
バングラデシュ	6000億円
ミャンマーの債権免除	2兆3000億円
ベトナム	8000億円+6000億円
アフリカ	3兆円
米国にアベノミクス許容費用	105.2兆円
米国にリニア	5000億円+リニア技術(無料)
パプアニューギニ	200億円
ウクライナ	1500億円 (内チェルノブイリ3.5億円)
世界銀行	5000億円
オーストラリア	最先端潜水艦技術
北朝鮮	2兆円~5兆円

新日本婦人の会夕張支部 19年事務所開きに16名参加

1月18日、新日本婦人の会夕張支部の事務所開きが開催され、16人が集まりました。
久世公子支部長の挨拶のあと、会員でもあるくまがい桂子市議の「選挙で暮らしを変えよう！」の音頭で乾杯。お雑煮や持ち寄りのお料理をいただき、ビンゴやバザーも楽しみました。



年金者組合夕張支部 「ダンスを楽しむ会」 19年新年総会開催

1月25日、年金者組合「ダンスを楽しむ会」は新年総会を開催しました。
総会にはメンバー12名と、来賓には滝口年金者組合支部長とくまがい桂子市議が参加しました。
豪華なお弁当と飲み物が用意され、和やかな懇談とダンスを楽しんでいました。



くずさんの 夕張歴史散歩(104)

明治維新 20 / 朝鮮干渉 ④

東学農民戦争への介入

朝鮮国内の改革運動や政争に対し、明治政府は一貫して干渉介入を図ります。
一八九〇年代(明治23年代)、朝鮮国内には民衆の蜂起が頻発します。

本来宗教団体であった東学(西洋宗教のキリスト教に対して)に対する弾圧と、地方官吏や豪族の不法・汚職に怒った農民一揆が結びつき、朝鮮南西部の全羅道において大規模な農民闘争が發展します。

全臻準(ゼンシンジュン)を指導者とする東学農民軍は、一八九四年(明治27年)五月三十一日、政府軍を破り全州を占領します。

この革命的闘争の勢いに押された朝鮮国王は、これを鎮圧のため清国に軍隊の派遣を要請します。

日本軍出動

この知らせは六月二日、陸奥外相に届きます。時の参謀本部次長川上操六は「朝鮮の風雲急に乗じ、出兵の機会を積極的に利用して、清国勢力の掃をはか」と、出兵を主張します。結局日本政府は、軍部主導による出動を決めます。かくして、大島義昌少将ひきいる混成旅団七千人は、続々と仁川に上陸します。

この動きを察した東学農民軍は朝鮮政府と、日清の軍事的干渉を避けるため「全州和約」を結び和睦します。(六月十一日)(第一次甲午農民戦争)

こうなると、日本軍が朝鮮国内にとどまる口実はなくなり、一方清国軍は、朝鮮政府の要請を盾に「日本軍の撤退が先」として譲りません。

そこで、卑劣な事件が突発します。



島山和也「かけある記」
前衆議院議員

島山 和也

底力を出しあつて

選挙イヤーの幕開けは十勝・清水町から！ 昨年一月に現職の木村好孝町議が亡くなり、「五十年続いた党の議席を空白にできない」と中河つる子さんが立候補され、前回選挙より得票を伸ばして見事に四位で当選しました。中河さんは、五十年前に党町議となった佐々木清登さんの教え子だったそうです。このような歴史を継いで、今の日本共産党への信頼があるのかと思うと胸が熱くなりました。

二月には議席増をめざす東川町と現職が十二期目をめざす長沼町、三月になれば統一地方選がスタートします。お住いの町はもちろん、全道・全国の知人・友人に日本共産党予定候補をお広げください。その一声が地域を変え、安倍政権も変える力になります。

通常国会もスタートしました。勤労統計の偽装が見つかり、アベノミクスで「賃金があがった」と誇っていた土台が揺らいでいます。もはや「サギノミクス」と呼びたいくらい。賃金も消費も上向かなければ、消費税の増税もできないはず。ウソと隠ぺいの安倍政権を続けさせるわけにはいきません。

それでも安倍首相は、政権を延命させて九条改憲へと執念を燃やしてくるでしょう。ある「女性のつどい」があつた際に、歌人・石井百代さんの短歌を思い出し、紹介しました。

徴兵は命かけても阻むべし 母・祖母・おみな牢に満つるとも

戦争反対を唱えても、今は牢獄に入れられる心配はありません。底力を出しあつて、連続選挙でいい結果を出しましょう。